

～ 梅雨本番に備えて水防団と合同で川を巡視しました ～

H29.6.21 平成29年度 合同巡視（津山登米・中田東和地区）を実施

北上川下流等
大規模氾濫時の
減災対策協議会
確実な避難
被害を防ぐ



- 平成29年6月21日、登米市の、津山、登米、中田、東和地区において、水防団、登米市、宮後県と合同で重要水防箇所の合同巡視を実施しました。（参加者：津山登米地区21名、中田東和地区28名）
- 「北上川下流等大規模氾濫時の減災対策協議会」及び「カスリン・アイオン台風から70年」の取組の一環として、本格的な大雨時期を前に、洪水時に危険になる箇所「重要水防箇所（※）」や工事箇所等を河川管理者と市・町・水防団が合同で巡視し、迅速な水防活動を行うために必要な情報を共有しました。
※「重要水防箇所」とは・・・「大きさ（高さ、幅）不足の堤防」「過去に法面が崩れた堤防」「漏水実績のある堤防」「過去3年以内に完成した堤防」など、洪水時に危険になることが予想され、重点的な巡視や点検が必要な箇所です。
- 参加者は、危険箇所の確認や水防資材の確認を行い、今後の水防活動に必要な情報の確認を行いました。

【位置図】



▲津山町水防倉庫の巡視



▲北上川左岸26.8k「柳津堤防」重要水防箇所の巡視



▲津山登米地区 意見交換会の様子



▲防災教育資料として作成した「マンガ 水防団の神様」
※ 当日、参加者へ配布



▲北上川左岸38.9k(根廻)重要水防箇所の巡視



▲東和水防倉庫の巡視



▲北上川右岸48.0k「大泉堤防」重要水防箇所の巡視



▲中田東和地区 意見交換会の様子